

如きは分る幹の如何なる「コソ」を散布しようとして  
 秋が天部員諸君はその空気に乗らぬ種注意を来  
 のない。無二か、この問題の如き日寧等西谷一派が  
 概ね天部の合計より同派の勢力である。このあ  
 つて秋等が承知し承知りなく西谷を初級を歩け  
 てある。従って親等は秋が天部に口を許すは  
 りとする。自らなり足柄に及ぶ一歩は非  
 りない。彼等の望人を非おけしは秋必ま  
 承水の中も暗と云はれ非なりぬらだ。

親愛なる天部員諸君  
 最後の一歩は分る幹の如何なる「コソ」を散布しようとして  
 秋が天部員諸君はその空気に乗らぬ種注意を来  
 のない。無二か、この問題の如き日寧等西谷一派が  
 概ね天部の合計より同派の勢力である。このあ  
 つて秋等が承知し承知りなく西谷を初級を歩け  
 てある。従って親等は秋が天部に口を許すは  
 りとする。自らなり足柄に及ぶ一歩は非  
 りない。彼等の望人を非おけしは秋必ま  
 承水の中も暗と云はれ非なりぬらだ。

て何かに親等が社会正義を以て一面おけの階  
 級性を之を昭へる資格があるのか寧ろ「コソ」を  
 散らさる。

親愛なる天部員諸君  
 其の労働階級の別を代表し其の階級の場  
 を守る事今日より秋が天部の勝利を  
 したる事である。天部員諸君、諸君は振  
 舞いを見事にしなす。最後は分る幹の如何なる「コソ」を  
 散らさる。

拍合  
 去る二日の幹部会に於て本問題解決は（司  
 明）は平常より秋が天部の勝利を  
 したる事である。天部員諸君、諸君は振  
 舞いを見事にしなす。最後は分る幹の如何なる「コソ」を  
 散らさる。

光輝ある秋が天部の旗を守れ！  
 総同盟一派の階級の  
 東東切着を紛碎せよ！  
 品川支部の方へ！

労務第二七八号  
 昭和四年十一月十九日

警視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙蔵殿

社会 局長 官殿  
 各 府 長 官殿

品川製作所、労働争議ニ関スル件 (第十報)

要旨  
 工場側ハ 徳岡製鋼ト、協会上十月十五日 組合同盟側、該解ノ上 同業職工ニテ 解雇セリ  
 徳岡製鋼ハ 十月十日 工場側ト 会见後 復元 態度ニ示セルカ 要領を得ス 組合同盟側ハ 工場側ヲ 牽制シマツリ

首領労働争議其後ノ状況左記ノ通り

一、事業主側

就業状況ハ 前報ト 変化ナク 工場側ハ 一、二名、臨時工ヲ 増加シテ 業務ヲ 継続シ  
 ツ、アルカ 十一月十五日 豫テ 組合員 賞楯 被疑者トシテ 取調ハシタル 組合同盟  
 系職工 小林兼治、ヲ 工場側ニ 送テ 解雇シ 更に 前支部長ニシテ 目下 傷害罪 (十月十  
 四日ノ 事件)トシテ 起訴 收容中ノ 職工 山口秀人ハ 自發的ニ 退職ヲ 願出 十五日工